

桐生繊維業界の実態

平成27年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成27年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	121 億 4,725 万円	
(2) 加工高	13 億 2,009 万円	
(3) 販売高	66 億 7,729 万円	
計	201 億 4,463 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比86%）	17 億 1,833 万円	
計	218 億 6,296 万円	（前年対比 86%）
3. 組合員数（事業所数）	244 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	1,808 人	
5. 一事業所当たり従業員数	7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	8,256 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 7年 産地収入	733 億 6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億 3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億 9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）
平成22年 産地収入	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
平成23年 産地収入	258 億 0,221 万円	（前年対比100%）
平成24年 産地収入	257 億 5,924 万円	（前年対比100%）
平成25年 産地収入	261 億 8,835 万円	（前年対比102%）
平成26年 産地収入	254 億 1,823 万円	（前年対比 97%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	54	118	147	50	70	385	55
	内地協議会	60	156	278	50	57	541	59
桐生染色組合		11	95	52	4	4	155	52
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		20	33	121	7	15	176	45
桐生織物産地元売組合		3	3	2	1	1	7	52
桐生糸商組合		8	21	8	2	8	39	49
桐生刺繍商工業協同組合		45	72	110	65	66	313	59
東日本編レース工業組合		4	36	19	6	4	65	49
桐生意匠組合		10	1	1	3	7	12	60
桐生紋紙組合		9	4	0	5	3	12	64
東毛ジャカード刺繍協同組合		8	8	10	8	8	34	52
桐生織物商友会		7	9	9	2	6	26	59
桐生テキスタイル商業グループ		5	21	13	4	5	43	50
合計		244	577	770	207	254	1,808	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	336,962	19,927	356,889	96	0	100
	内地協議会	112,458	-	112,458	92	0	100
桐生染色組合		-	50,000	50,000	93	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		539,631	16,690	556,321	68	6	94
桐生刺繍商工業協同組合		29,630	44,430	74,060	105	40	60
東日本編レース工業組合		173,968	-	173,968	95	10	90
桐生意匠組合		3,950	-	3,950	98	100	0
桐生紋紙組合		3,800	-	3,800	95	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		14,326	962	15,288	90	2	98
合 計		1,214,725	132,009	1,346,734	82	8	92

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	36,000	75	20	80
桐生糸商組合	390,000	98	72	28
桐生織物商友会	78,500	99	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	163,229	95	1	99
合 計	667,729	95	45	55

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	308,036	86	48,853	14	356,889
	内地協議会	112,458	100	-	-	112,458
桐生染色組合		50,000	100	-	-	50,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		550,758	99	5,563	1	556,321
桐生織物産地元売組合		36,000	100	-	-	36,000
桐生糸商組合		350,000	90	40,000	10	390,000
桐生刺繍商工業協同組合		74,060	100	-	-	74,060
東日本編レース工業組合		172,018	99	1,950	1	173,968
桐生意匠組合		3,950	100	-	-	3,950
桐生紋紙組合		3,800	100	-	-	3,800
東毛ジャカード刺繍協同組合		15,288	100	-	-	15,288
桐生織物商友会		78,500	100	-	-	78,500
桐生テキスタイル商業グループ		142,009	87	21,220	13	163,229
合計		1,896,877	94	117,586	6	2,014,463

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		69	15	11	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		56	22	16	6	
桐生染色組合		合織	レヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		80	5	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		24	20	10	4	42

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	35	20	10	10	25
桐生糸商組合	ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
	40	18	7	15	20
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	15	15	20	10	40
東日本編レース工業組合	インテリア	産業資材	衣料		
	64	26	10		
桐生意匠組合	洋反	インテリア	帯地	金襴	
	83	9	3	5	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	30	50	20		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン刺繍	その他の布帛	プリント加工
	75	6	9	7	3
桐生織物商友会	二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
	70	10	10	1	9
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	680
		自動織機（片レピア含）	210
		超自動織機（レピア）	395
		計	1,285
	内地協議会	広幅織機	67
		並幅織機	648
		小幅織機	121
		自動・レピア織機	206
		計	1,042
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	55	
	高圧噴射式染色機	10	
	汎用染色機	10	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	18	
	計	123	
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）	202	
	プレス	34	
	裁断機	16	
	その他	51	
	計	303	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	350	
	計	395	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	78	
	計	78	
桐生意匠組合	デザインシステム	20	
	コピー機	7	
	計	27	
桐生紋紙組合	デザインシステム	17	
	横彫カット・エンドレス	12	
	カードパンチ	8	
	ワンパンチ	3	
	計	40	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	19	
	プレス	4	
	本縫いミシン及びその他の機械	22	
	パンチング製版機及びプリント機	4	
	計	49	

7. 最近の推移（H27年10月～H28年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	97		○		100
	内地協議会			○	91			○	97
桐生染色組合				○	90		○		100
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)				○	96		○		100
桐生織物産地元売組合				○	75			○	95
桐生糸商組合				○	95			○	95
桐生刺繍商工業協同組合		○			105	○			105
東日本編レース工業組合			○		100		○		100
桐生意匠組合				○	98		○		100
桐生紋紙組合				○	90			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会			○		100		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	95		○		100
合計		1	2	10		1	8	4	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成27年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・産地商品に対する消費は依然として低迷している。
輸出においては、個性的な高級素材への関心が高くなってきている。受注数量は少量のものが多くなっている。
- ・和装部門においては、和装の愛好者が多くなっていることは実感しているが、その需要は桐生産地まで届いていない。
また、フォーマル関連の簡素化や低価格化が進んでいるようである。

平成27年の状況、事業概要

- ・国内事業として、東京青山にて10月に桐生テキスタイルコレクション2016AWを開催。
また、JFW ジャパンクリエーションへの出展をした。
輸出向けとして、9月にミラノで開催されたミラノウニカに出展。
- ・和装部門においては、ますます市場が狭まり、さらに市況が厳しくなるばかりであったが、集散地である東京・京都における展示会の開催を継続して実施した。
また、今までなかったような新しい製品の提供のため、開発事業に取り組むなど、需要の喚起と販路の開拓を組合事業の柱として、和装振興のため多くの事業を行った。

今後の課題

- ・多品種少量生産の特色を生かし、まだ市場に無い変化のある織物、より一層の高付加価値商品の開発を継続していくことが必要である。
- ・和装部門においては、産地の知名度とイメージの向上を図るため、地域団体商標「桐生織」を活用したブランド力の向上を図る。
また、技術後継の問題の改善や製造機器の欠損部品の補充方法の検討など、今後の課題は多い。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・織物・カーテン共仕事量は減少（後染関係は特に悪化）。
- ・糸染も織物同様市況は悪化。

平成27年の状況、事業概要

- ・きわめて悪化の状況にある。織物、レースも一般衣料、一般カーテンは不振であるが、機能性（耐紫外線対策）、病院用カーテンは堅調。
- ・加工賃は安価であるが、スポーツ衣料向けは好調。素材は、抗菌、吸湿、速乾糸。

今後の課題

- ・差別化された加工、環境の変化に対応する繊維加工、エコ加工が注目される。

桐生ものづくり協同組合（旧 桐生繊維製品協同組合）

商品 消費者ニーズの変化について

- ・近年の温暖化の影響を受け、秋冬物の重衣料の売上げ不振で受注引き合いが大きく落ち込んだ。春物に関しても、その影響を引きずるかたちで悪い状況が続いています。

平成27年の状況、事業概要

- ・長年続く繊維業界の不振を重く受け止め、当組合として異業種での新たな可能性を求め、5月の総会にて承認をいただきスタート致しました。今後は、異業種の会員拡大と共同事業を進め、組合の維持・存続に努力していきたい。

今後の課題

- ・繊維業界はもとより、どの業種でも人材不足との話を伺います。当組合の中心事業の実習生受入事業はますます需要が高まるのが予想されますので、今後行われるであろう法改正などを注視し、柔軟な対応を取っていききたいと思えます。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・日本の民族衣裳である着物は、1970年頃から日常生活においては着用されず、唯一冠婚葬祭、又は余暇のおしゃれ着として着用されるようになった。近年は会費制結婚式や家族葬が多くなり、結婚式や葬式にも着る人が少なくなり、年間の呉服販売は年々減少している。

平成27年の状況、事業概要

- ・27年度において、夏まつりの浴衣の需要は増加しているが、殆ど中国製品である。枚数においては、中国製が75%位に増加している。
- ・成人式用の振袖が一番期待できる商品であるが、レンタルの需要が多く、販売高は減少している。

今後の課題

- ・各産地共に、着物愛好者を増やすため、さまざまなイベントを企画しているが、実需がともなっていない。また、織物の準備工程においても撚糸、染、整経、整理等々の職場においても従業員の高齢化が進んでいる。今後の課題は多い。

桐生系商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・各分野共ガリバー型が少しずつ顕著に成って来ている。即ち全体のその分野での総売数が減っている結果と思われる。実経済特に繊維業界には不況感がある。

平成27年の状況、事業概要

- ・上記のとおり、全体的には景気は下降した。同時に一時の円安に植えられた感触から見れば、年末にかけ円高に成った状況に不況感が増した。これらに伴い、荷動きは8月頃から年末に掛け、ファッション業界を中心に悪くなった。

今後の課題

- ・上記した如く、ファッション業界については、暫く回復はしてこないと思われるが、他分野即ち資材・ユニフォーム・スポーツはそれぞれ底固い動きを見せているので、それらの分野にいかに深く取り組む事が出来るかを模索して行く必要がある。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ニーズの多様化による小ロット生産が主体となっている。

平成27年の状況、事業概要

- ・円安に伴うコスト増等、材料等の値上がりが問題となっています。又、送料の問題も多くなってきました。ただし、将来にむかって明るいきざしが多少見えつつある。

今後の課題

- ・技術者の高齢による人材の確保は相変わらず難しい状況です。少なくとも若者も取り組んできている企業もある中、チャレンジを続ける事で、個々の企業の技術、得意分野を磨き続ける事により、桐生刺繍の良さをアピールしてゆく事です。
- 又、東京銀座ぐんまちゃん家にて“桐生刺繍世界発信”として展示会・商談会を開催、ビジネスチャンスを見出せるように今後も続けてゆきたいと存じます。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費税アップの反動から抜け出しつつあるが、力不足。ただ、春の需要期を控えているので今後上向くことが期待される。

平成27年の状況、事業概要

- ・消費税アップによる反動が思いの外長引き、受注が低調に推移した。

今後の課題

- ・来年春のさらなる消費税増税、2020年のオリンピックに向かって需要は高まると思われるので、付加価値の高い商品づくりと展示会等を利用した販促に力を注ぐ必要がある。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・高品質・高単価の商品を求める購買層と低価格商品を求める購買層の二極化が益々進んでいるように思われます。

平成27年の状況、事業概要

- ・デザイン性や機能性の有る商品は、一部順調に推移しているものの、全体的には厳しい状況であると思われます。

今後の課題

- ・産地の利点を活かした活動が、今後さらに重要になってくると思われます。分業制の多い業種ですが、全体の生産キャパの確保が必要不可欠と思われます。事業継承問題も含め、人材確保が課題であると思えます。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ファッションがシンプルになった。
- ・高額商品は、一部売られているものの全体の販売数量は減っている。
- ・より安い商品が求められ、価格引き下げの圧力は止まっていない。
- ・衣類への支出をしない消費者が増えてきており、ファッション品に対する嗜好優先順位も引き下がってきている。

平成27年の状況、事業概要

- ・先行きはより混沌としてきた。
- ・低価格アパレルですら販売数量が減ってきている。
- ・大手アパレルの縮小化や一気に進むリストラへの対応についていけない現況にあって、その影響でマーケット自体も縮小し、ブランドの内容や効率の見直し、余剰人材のカット等が広がってきた。
- ・売上金額に変化はないが、運賃・一般経費などのインフラコストが上がってきたため、生産コスト上昇を招いている。
- ・昨年11月末では比較的順調に推移していたが、その後は暖冬などの季節的要因のため生産数量が減った。この現象は大手アパレルほど多くみられた。

今後の課題

- ・国内販売が伸びない状況のため、販売単価を上げるか輸出を強化する必要がある。
- ・来日が増えている外国人観光客の需要を取り入れる体制を整えることも急務で、その商品については、桐生のみで生産できる商品を創り上げる必要がある。
- ・現業にあっては、縫製能力を向上させるなど、サプライチェーンの見直し等の生産体制のインフラを再整備して対応できるようにする必要があり、加工所の一個人に頼った技術だけでなく、人材を確保し、桐生全体で独自の加工技術を開発できるようになることが求められる。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後藤 隆造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊藤 久夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	朝倉 泰	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (桐生繊維製品協同組合)	岡部 利明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木村 俊一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店内	53-5131
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村田 欽也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増田 正明	桐生市東4-5-32 増田図案所内	44-5334
桐生紋紙組合	高松 靖郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後藤 誠三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター内
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5
 電話 (0277) 46-1011
 FAX (0277) 40-1300